

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	りすの森malu		
○保護者評価実施期間	2025年1月14日		～ 2025年2月1日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26名	(回答者数) 17名
○従業者評価実施期間	2025年1月11日		～ 2025年1月18日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3名	(回答者数) 3名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月27日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者が安心して通所している。	<ul style="list-style-type: none"> 本人の日々の想いに沿った支援を意識し、1日～1週間の活動予定を本人自身と一緒に考えている。選択が難しい子どもに対しては、写真つきの活動表の中から活動を選択してもらう。 パーティションで区切られた空間や別室、過ごす場所を本人の意思を確認しながら設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期的に本人と面談し、希望や悩み等を聞き改善していく。 活動の選択肢が広げられるようより様々な活動を準備し、本人がやってみようかなと思ったときにできる体制を整えていく。
2	職員の子どもの特性への配慮がある。	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの特性についてや支援方法についての研修会を年3回行っている。また、ドクターや不登校支援をしている方の研修会を開催している。 個々の子どもの特性に合わせて活動の選択の仕方を変えたり、スケジュール用紙も数パターン準備して、様々な方法で本人の意思を確認している。 	<ul style="list-style-type: none"> 相談時や契約前のアセスメントを保護者以外からも情報を取り、職員間で共有する。 日々の支援について、職員間で振り返りを行う。
3	事業所への子どもや保護者の満足感が高い。	<ul style="list-style-type: none"> 本人の想いや特性に寄り添った支援を心がけ、実践している。 学校やスクールソーシャルワーカー、相談員と協力しながら支援を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 安心して過ごせるよう、人や場所、活動を工夫していく。 保護者の気持ちを聞く機会や本人の様子や変化を共有する場を定期的に設定する。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との交流機会、保護者同士の交流会が不足している。	<ul style="list-style-type: none"> 公園や図書館、買い物に出かける機会を設けている。保護者を対象にした、研修会もあるが、交流を主目的とした場の設定が必要。 児童クラブや他事業所との接点がない。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者の意見を聞きながら、プライバシーに配慮して取り組んでいく。 ケア会議などで関わった他事業所と交流の機会を作っていく。 くるみ会員の周知を図っていく。
2	非常時の対応について周知できていない。	<ul style="list-style-type: none"> 避難訓練実施曜日以外の保護者への情報共有方法お知らせ以外での伝達方法が不十分。 	<ul style="list-style-type: none"> SNSでも発信している事を再度伝えていく。 モニタリングや面談時など、定期的に説得していく。
3	各種マニュアルの存在を周知不足	<ul style="list-style-type: none"> 各種マニュアルがある事をうまく周知できていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 年度初めに配布するお知らせに各種マニュアルがある事を掲載する。